

山形県酒田港ポートセミナーが開催されました

11月30日（木）、東京都内で山形県酒田港ポートセミナーが開催されました。このセミナーは、環日本海の重要な港湾として「酒田港」を首都圏の企業に周知し、利用促進を図るため開催されたものです。

当日は、吉村美栄子山形県知事が「ぜひ酒田港を利用してほしい」と挨拶された後、大澤賢史山形県観光文化スポーツ部長と角湯克典山形県土整備部長から、山形県や酒田港の港湾機能、利用状況の紹介がありました。また、海運貨物取扱業者の日本通運株式会社酒田支社及び酒田海陸運送株式会社よりプレゼンテーションがありました。

事例発表では、奥村正秀花王(株)酒田工場長が「酒田港を基点とした花王酒田工場の“よきモノづくり”」と題した発表の中で、紙おむつ工場の建設を酒田港に選定した理由として、「優秀な人材が採用できること、港湾インフラが充実しており、効率的な物流環境が可能だった」と説明しました。また、鈴木隆一株式会社でん六代表取締役社長は、品質改革、物流改革のため酒田港の利用を始めたとし、酒田港利用のメリットとして、「コストダウンや輸送距離の削減によるCO₂の削減が実現できた。」と説明しました。



吉村山形県知事 挨拶



奥村花王(株)酒田工場長
事例発表



鈴木(株)でん六代表取締役社長
事例発表



山形県酒田港ポートセミナーの様子

